

**第4回壬生町羽生田地区用地造成事業
自然環境保全モニタリング委員会**

議 事 録 要 旨

- 1 日 時 平成 24 年 12 月 11 日（火曜日）17:00～18:30
- 2 場 所 栃木県企業局第 1 会議室
- 3 出席者 委員長 青木章彦（作新学院大学女子短期大学部教授）
委員 遠藤孝一（日本野鳥の会栃木副代表）
委員 香川清彦（宇都宮大学農学部生物生産科学科）
委員 杉山恵一（壬生町羽生田地区連絡協議会長）
委員 野中 純（日本野鳥の会栃木調査記録委員長）
事務局： 県 企業局地域整備課 6 名、壬生町商工観光課 1 名、
栃木土木事務所 1 名
外 業務請負者 3 名
- 4 議 題
- (1) 第 3 回議事録（案）、議事録要旨（案）、意見の確認（案）について（資料-1）
◇資料-1 に基づき事務局が説明し了承された。
- (2) 平成 24 年モニタリング調査結果について（資料-2）
◇資料-2 に基づき調査会社が説明し了承を得た。
- (3) 平成 24 年度工事の進捗状況と今後の工事計画について（資料-3）
◇資料-3 に基づき事務局が説明し、以下の指摘があった。
・モニタリング調査時に第 2 調整池において飛来する水鳥の種類、数等を確認する。
・第 1 街区造成工事の工程、施工方法について分かり次第報告する。
- (4) 平成 25 年度工事に伴う保全対策計画（案）について（資料-4）
◇資料-4 に基づき調査会社が説明し、以下の指摘があった。
・とまり木の設置について、過去の調査結果を基に利用や狩りの多かった所に柔軟に配置する。
・第 1 街区造成工事の施工方法について、サシバの営巣期後に既設とまり木部の工事を実施することが工程上可能か否か検討する。
・民有保安林の皆伐計画を必ず計画通りに実施する。

(5) 平成 25 年度モニタリング調査計画（案）について（資料-5）

◇資料-5 に基づき調査会社が説明し、以下の指摘があった。

- ・両生類救出水路周辺における両生類調査については、栃木県立博物館の林さんに相談し、保全対策の効果がわかるような調査を行う。

(6) その他

◇事務局から、次回の委員会の日程や検討事項などがある場合はそれ以前に打ち合わせを行うという説明を行った。また、第 1 街区造成工事に係る詳細な工事計画や助谷バイパスの両生類モニタリング調査方法について、分かり次第各委員に報告するなどの説明を行った後、以下の指摘を受けた。

- ・必要な時期に必要な情報を提示して欲しい。

◇閉会

以上をもって散会となった。